

同窓会通信

第39号

発行

令和6年6月
岐阜県立関特別支援学校
同窓会

同窓会員の皆さま

同窓会会計監事 今瀬 恭司

私が同窓会役員の一員となってもう2年が経ちます。まだ2年と思う反面、その期間にも色々なことがありました。

コロナが少しずつ収まり、完全とは言えないながらも外出したり人と集まるイベントが開かれたりと、少し前の光景が戻ってきつつある中で大きな地震が起きてしまい、なかなか明るい話題にならない、もどかしい日々でした。

それでも私は一人の役員として、この同窓会役員会の仲間の皆さんと、私達の活動を支えてくださる先生方と一緒に、私達の出来る精一杯の活動で、この学校を卒業したかつての仲間、そして新たに卒業し、成人を迎えていく仲間のみんなが明るく元気に、楽しく毎日を過ごしていけるような空間を作りたいと思っています。

今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

時代は変わっても

校長 渡辺 政幸

少し前に放送されたテレビドラマがあります。ドラマは、スパルタ指導で子どもたちに接する中学校体育教師が、ふとしたきっかけで昭和から令和の時代にタイムスリップ。過剰なまでのコンプライアンスに縛られた令和時代の人々に、戦後から現代社会の礎を築いてきた昭和世代の視点を通して、「今、当たり前になっていること、本当にそれでいいの？」と考えるきっかけを与えていくといったストーリーです。SNSでも話題になっていましたので、ご覧になっていた方も多かったのではないかと思います。

昭和から、平成、令和と時代は変わってきています。昭和の時代には当たり前だと思われていたことも、令和の現代では通用しないことも数多くあります。公共の場や職場での喫煙、男女の役割分担、雇用形態や働き方、家族構成、コンプライアンスの重要性等、挙

げればきりがありません。これらの変化は、社会や文化、技術の進化に伴うものであり、昭和の当たり前が令和では当たり前でなくなることが、社会の進化の一つの指標であるとも言えます。

しかし、時代は変わっても変わらないものもあります。それは、人と人とのつながりの大切さです。どんなに科学技術やテクノロジーが発展して、AIとの対話があたかも人と対話しているかのごとく感じるようになったとしても、人がリアルに人とつながることを必要としなくてはならないと思います。人は人とつながりの中で生きているからです。時代は変わって、その手段は変わるかも知れませんが、これからも人とつながりを大切にできる同窓会であり続けていただきたいと思っています。

新しい同窓会の仲間紹介

本年度、関特別支援学校同窓会に入会された皆さんです。それぞれ新しい生活が始まり、楽しいことや辛いことがあると思います。同窓会としても温かく見守っていきたいです。何か困った時には気軽に相談してください。また会員相互でもサポートをしてあげましょう。

《令和5年度 卒業生より》

熊田 美優

自分の夢に向かって成長していきます！

何輪 潤

いろいろな事をがんばりたいです。

森下 瑛人

体調に気をつけて、毎日楽しく通いたいです。

藤掛 暁聖

体調を維持し、楽しみをみつけて毎日笑顔で過ごす。



新成人の挨拶

令和3年度卒業 大岡 敬巨

まず初めにこの20歳を祝う会を開いてくださり本当にありがとうございます。そして、無事に20歳を迎えることが出来ました。この日を迎えられた事、そして20年間楽しく過ごすことが出来たのは、温かい家族と僕たちに関わってくださった皆様のお陰だと思っています。

この3年間、たくさん辛いことや楽しいことがあっても、7人の仲間がいつも心の隅で支えとなっていました。そして今でも関わりを持ち続けてくださってる当時の先生方に助けられて今は楽しい生活が来ています。高等部時代のお話をします。

入学した当時は沢山下ドキドキした覚えがあります。唯一この7人の仲間とできたことは学校祭と宿泊学習と卒業旅行でした。数少ない7人で力を合わせてやり遂げたことが、今でも鮮明に覚えています。2年生になる時には、コロナ禍で7人が集まることができず、少し寂しい時期が続きました。悔しくて悲しくてそれでも、集まった時には全力で楽しむみんなの笑顔がすごく嬉しかったし、沢山励まされました。

修学旅行では行くはずだったディズニーも新型コロナウイルス感染防止で行けなくなり、初めは修学旅行がなくなっちゃうんじゃないか、みんなで最後楽しめないんじゃないかって不安で不安で仕方なかったです。それで少し落ち込んだ時がありましたが、日帰りの卒業旅行では、6人揃って行けたことが本当に楽しくて仕方なかったです。

これから先も、でこぼこ道が沢山あると思います。それでも、そばで支えてくれる

家族、そしてこの7人を思い出して、これから先も一生に1回の人生を楽しんでください。

明日からも7人はそれぞれの道に歩み続けます。死にそうなくらい辛いことがあっても、必ずこの7人が助けてくれます。それをずっとずっと忘れないでください。そして、20年間僕たちを支えてくださった保護者の方々、先生、地域の方々20年間本当にありがとうございました。心より感謝致します。そして、またこの7人全員と再会できる日を心から楽しみにしています。

同窓会の皆様、そしてPTAの方々には、これからもお世話になるとと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。



みんな集まれつどいの会 二十歳を祝う会

「みんな集まれつどいの会」と
「二十歳を祝う会」を
下記の通り開催いたします

■日 時 令和6年11月16日(土)
■場 所 岐阜県立関特別支援学校

※午前中はバザー等の企画を行っております。

寄付金のお願い

当校同窓会では、随時、寄付金を募っています。是非とも、皆さまのご協力のほどよろしくお願いたします。なお、寄付して頂いた際には通信にて（内容によりますが）企業や福祉関連情報などのお知らせをすることも可能です。

1口1,000円（1口以上何口でも）

口座振込先：十六銀行 関支店 店番251
口座番号：普通 0526048
振込名義：岐阜県立関特別支援学校
同窓会会長 深見 大輔

※寄附して頂ける（お振込）際には、一度、同窓会事務局 担当までご連絡して頂けると幸いです。

● 同窓会通信に関するお願い ●

昨年度まで郵送希望の同窓生には、同窓会通信を発送させて頂いておりましたが、昨今の物価の高騰と郵送料の価格の値上がりにより、同窓会会費から支出することが年々厳しくなってきました。通信を楽しみにして頂いております同窓生の方々には、大変申し分けありませんが、今年度からは当校のホームページで同窓会通信をご覧いただきますようご協力宜しくお願いします。

QRコードを同窓会通信と一緒に送りますので、今後は、同封したQRコードから同窓会のホームページを見て下さい。大切に保管をお願いします。

令和6年度 関特別支援学校行事予定

令和6年

11月15日(金) さんざし祭1日目

11月16日(土) さんざし祭2日目（半日日課）

みんな集まれつどいの会・二十歳を祝う会

3月14日(金) 小・中・高卒業証書授与式 同窓会入会式

編集後記

初夏の候、会員の皆さんお元気でしょうか。

今年はパリオリンピック・パラリンピックの開催の年。2021年にコロナ禍の中で開催された東京オリパラから3年、早いものですね。

コロナ禍での学生生活については3ページで同窓

生の大岡さんが綴られています。多くの苦労があったことでしょう。どの世代の同窓生も同じ時間を共有した仲間がいると思います。「みんな元気かな」と思い出してみてもはどうでしょう。

久しぶりに総会と「みんな集まれつどいの会」を開催し、皆さんの元気な姿を見られることを祈っています。是非ご参加ください。 栗本 裕也